

体育科学習指導案

令和2年10月 第3学年・4学年 指導者 小金澤 真住

1 単元名 ボール運動(ゴール型) 「セストボール」

2 学習指導要領上の位置付け

E ゲーム

<知識及び技能>

(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、易しいゲームをすること。

ア ゴール型ゲームでは、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすること。

<思考力、判断力、表現力等>

(2) 規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えること。

3 目標

ボール運動を通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 行い方を知るとともに、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、コート内で入り交じってボールを手でシュートしたり、空いている場所に素早く動いたりする易しいゲームをする。(知識及び技能)

イ 誰もが楽しくゲームに参加できるよう規則を選んだり、ボールを持っている人と持っていない人の役割を踏まえた作戦を選んだりするとともに、自己の気付きを伝えたり、大切だと感じたことを友達に教えたりする。(思考力、判断力、表現力等)

ウ 易しいゲームに進んで取り組み、ゲームやそれらの練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりして見つけた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認める。

(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開（4／6）

(1) ねらい

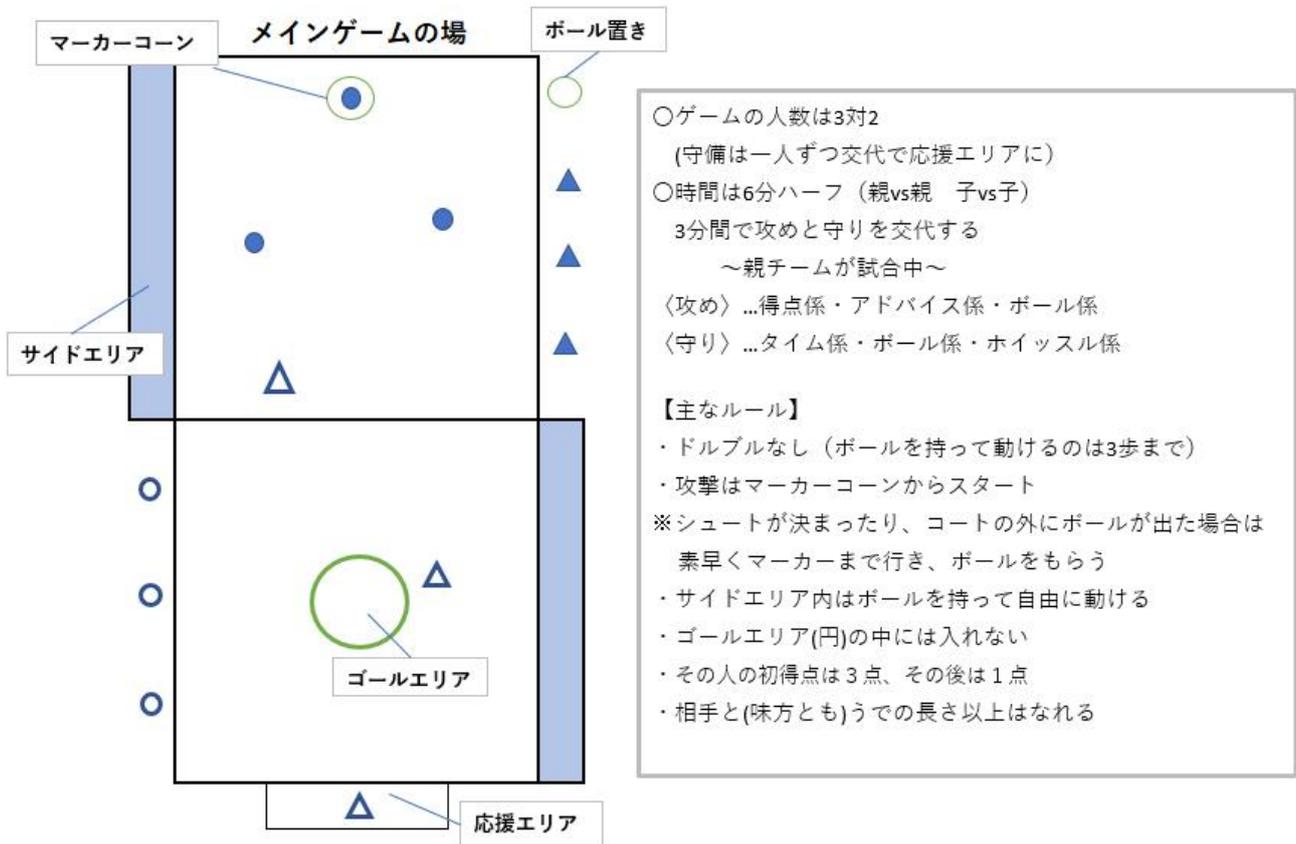
パスをフリーでもらうためには、相手の後ろに隠れないようにコートを広く使ったり、空いているスペースを見つけて動いたりすればよいなど、ゲームを通して、パスをもらうときのコツについて考えたことや気付いたことを表現し合うことができるようにする。

(2) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	○指導上の留意点 ◎研究上の手立て 評価項目<方法（観点）>
<p>1 準備</p> <ul style="list-style-type: none"> 準備運動（1 チームを親グループ3人子グループ3人で構成し活動する） ビブスやゴールを早く準備しよう。 シュートゲームで、たくさん得点したいな。 	8分	<ul style="list-style-type: none"> ○キャッチ技能が低い児童には、怪我の防止のため指先を立てずに、手のひらを相手に向けるよう指示する。 ○パスキャッチの技能を高められるよう、相手の胸や構えているところにパスを行ったり、動いているときは少し前にパスを出したりするとよいことを伝える。
<p>2 本時のめあてをつかむ。（全体）</p> <ul style="list-style-type: none"> この前はパスカットされてしまうことが多かったな。 フリーのときには声を出して呼んだ方がいいな。 	4分	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを児童の発言をもとに確認させる。 ○授業の流れやルールなど常に確認できるようホワイトボードに掲示しておく。
<p>[めあて] ゲームの中で、うまくパスをもらうための動きのコツを見付けよう。</p>		
<p>3—①活動1 〈タスクゲーム〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ディフェンスの陰にいとパスカットされてしまうから、あっちの広い所に動いてみよう。 相手の後ろにいとパスをもらうことができないな。 今なら自分がノーマークだから手を挙げて知らせよう。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで課題や練習方法について話し合いながらゲームを進めていくよう促し、めあてにそった発言をしている児童や、意欲的に活動しているグループを積極的に称賛する。 ◎4年生はパスが通りやすい状況を再現し説明したり、プレー中に実感した運動リズムに関する情報などを簡単な言葉にしたりして、パスがうまく通るために考えたことや気付いたことを友達に伝えることができるようにする。 ◎3年生はパスをうまくもらうための動きを体現しようとしていたり、グループの助言を聞いて考えたことや友達の動きを見て感じたことを、自分なりの言葉で伝えたりすることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>パスをもらうときのコツについてグループで考えたことをプレーで体現したり、自己の気付きや友達のよさを伝えたりしている。<観察・発言・ワークシート(2)[記]></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○お互いによい動きができたときは称賛し、失敗したときも「ドンマイ」などの声を掛け合って、楽しくゲームができるよう促す。

<p>3—②活動2 〈メインゲーム〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんにパスを集めよう。得点すれば3点になるよ！ ・もっと広がってパスをもらおう。 	<p>16分</p>	<p>◎前後半に分けてゲームを行う中で、自チームの動きのよさを考えながら応援し、ゲームが円滑に行えるよう役割(ボール係・得点係など)をもって支えられるようにする。</p>
<p>4 学習の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスをもらうときにディフェンスの陰にかくれないようにしたら、うまくパスをもらえた。 ・スペースに走るとパスをもらいやすかった。 	<p>7分</p>	<p>○新たにできたこと・気付いたこと・友達のよさやがんばっていたことについて発表させ、互いに認め合えるよう言葉掛けを行う。</p> <p>○全員で協力して、片付けを行わせる。</p>

6 場の設定計画



指導計画 体育科 第3・4学年 単元名 ボール運動(ゴール型)「セストボール」(全6時間計画)

目標	<p>ボール運動を通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 行い方を知るとともに、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、コート内で入り交じってボールを手でシュートしたり、空いている場所に素早く動いたりする易しいゲームをする。(知識及び技能)</p> <p>イ 誰もが楽しくゲームに参加できるよう規則を選んだり、ボールを持っている人と持っていない人の役割を踏まえた作戦を選んだりするとともに、自己の気づきを伝えたり、大切だと感じたことを友達に教えたりする。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ 易しいゲームに進んで取り組み、ゲームやそれらの練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりして見つけた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認める。(学びに向かう力、人間性等)</p>			
評価規準	<p>(1) セストボールの行い方を知るとともに、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、コート内で入り交じってボールを手でシュートしたり、空いている場所に素早く動いたりする易しいゲームをしている。(知識・技能)</p> <p>(2) 誰もが楽しくゲームに参加できるよう規則を選んだり、ボールを持っている人と持っていない人の役割を踏まえた作戦を選んだりするとともに、自己の気づきを伝えたり、大切だと感じたことを友達に教えたりしている。(思考、判断・表現)</p> <p>(3) 易しいゲームに進んで取り組み、ゲームやそれらの練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりして見つけた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>			
過程	時間	<p>○ねらい めあて</p>	<p>・振り返り(意識)</p>	<p>評価項目 (方法(観点))</p>
つかむ	1	<p>○試しのゲームを通して、パスやシュートについての課題や、セストボールの行い方について理解させる。</p> <p>試しのゲームを通して、自分の課題をもとう。</p>	<p>・セストボールのルールが分かった。シュートがあまり入らなかったので練習して入るようになりたい。ボールを持ったとき、あわてうまくパスできなかったので、落ち着いてパスをしたい。</p>	<p>・友達と協力しながら準備や練習を行い、パスやシュートなどの基本的なボール操作を楽しみながら、課題やセストボールのルールについて分かったことを記述したり、発言したりしている。(記述・発言(1))</p>
追究する①	2	<p>○タスクゲームを通して、シュートのコツについて考えたことや気付いたことを表現し合うことができるようにする。</p> <p>シュートを入れるためのコツを見付けよう。</p> <p>○タスクゲームを通して、味方がフリーのときに、パスが通るためのコツを身に付けさせる。</p> <p>パスを出すときのコツを見付けよう。</p>	<p>・シュートは山なりに打つとよいことが分かった。ドリルゲームで気を付けながらうまくなりた。相手が前にいるとシュートが打ちにくいことが分かった。</p> <p>・パスをするときは、相手が捕りやすいよう、胸から押し出したり、バウンドさせたりするとよい。相手は少ないので、フリーの味方を落ち着いて探すことが大事だと分かった。</p>	<p>・4年生：シュートが入りやすい場所や状況を説明したり、シュートを打つ際の体の使い方について運動リズムや簡単な言葉で表現したりし、シュートのコツについて考えたことや気付いたことを友達に伝えている。</p> <p>・3年生：タスクゲームを通して、シュートが入りやすい場所や状況について気付いたり、シュートが入るための体の使い方やボールの動きを自分の言葉で友達に伝えたりしている。(記述・発言(2))</p> <p>・フリーの味方を探しながらゲームを楽しみ、相手が捕りやすい位置やボールの勢いを考えながらパスを出そうとしている。(記述・発言・観察(1))</p>
追究する②	2	<p>○パスをフリーでもらうためには、相手の後ろに隠れないようにコートを広く使ったり、空いているスペースを見付けて動いたりすればよいなど、ゲームを通して、パスをもらうときのコツについて考えたことや気付いたことを表現し合うことができるようにする。</p> <p>ゲームの中で、うまくパスをもらうための動きのコツを見付けよう。</p> <p>○チームの特徴に応じた作戦を考え、メインゲームを通して、動きのよさや課題について伝え合い、友達の考えを認めることができるようにする。</p> <p>グループでもっと確実に点を取るための作戦を考えよう。</p>	<p>・パスをもらうときにディフェンスの陰にかくれないようにしたら、うまくパスをもらえた。</p> <p>・スペースに走るとパスをもらいやすかった。</p> <p>・自分たちの考えた作戦がうまくいって嬉しかった。次は相手のグループが行っていた作戦も使ってゲームをやってみよう。</p>	<p>・パスをもらうときのコツについてグループで考えたことをプレーで体現したり、自己の気づきや友達のよさを伝えたりしている。(記述・発言・観察(2) [記])</p> <p>・基本的なボール操作やフリーを作るための動きなど、学習したことをもとに、グループの特徴に応じた作戦を考え、メインゲームにおいて友達の動きのよさを認めている。(記述・発言(2))</p>
まとめる	1	<p>○メインゲームを通して、学習活動で身に付けたことを生かしたり、自分たちで考えた作戦を取り入れたりしながら進んでゲームを楽しむことができるようにする。</p> <p>他学年のよさや自分の学習成果を見付けよう。</p>	<p>・4年生は全員がシュートを積極的に打っているのがよかった。3年生も最初のときと比べ、動きがよくなっていた。最初はシュートがうまく入らなかったけど、最後の方は何回か決めることができ嬉しかった。</p>	<p>・ルールを守ってゲームを行い、互いの動きを見合ったり、話し合ったりして見つけた動きのよさや課題を伝え合ったり、友達の考えを認めたりしながら、セストボールを楽しんでいる。(観察・発言(3) [記])</p>